



## 堺市 P T A 協議会会長 退任挨拶

皆さまこんにちは。令和2年度堺市 P T A 協議会会長の植木 聡と申します。この度、令和3年6月をもちまして3年間務めさせていただきました本協議会会長を退任するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

はじめに、昨年より猛威を奮っている新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方へ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルスの蔓延が世界規模となり、日本でも生活様式が大きく変わるほどの影響を受けました。今年もその猛威は衰えることなく、6月に入ってから緊急事態宣言が発令された状態でした。しかしここきて、気候の影響でしょうか、気温の上昇とともに感染者数も減少し、また少しずつ普段の生活を取り戻してきています。ただ、未知のウイルスとの戦いはまだまだ予断を許さない状況ではありますので、皆様にも感染対策を引き続き継続していただきたいと思います。

さて、私が会長に就任して早3年が経ちました。最後の一年は新型コロナウイルスの影響で活動の縮小を余儀なくされましたが、在任中いただきました本協議会活動へのご支援・ご協力に対し心から感謝申し上げます。

この3年間を振り返ってみれば、一瞬の出来事のように感じますが、その時々はとても必死だったように思います。もちろん大変な時もありましたが、そこで出会ったたくさんの方との交流がとても楽しいことばかりで、ここきて、いざ退任するとなると寂しくもあります。

実際に活動している私たちの思いとは裏腹に、P T A に対してはなかなか良いイメージを抱いているという話が聞こえてこないのが残念ですが、ここ数年前から日本でも多様性が求められ、社会が大きく変化していき、人との関りが薄くなっていく中で、隣人との交流を大事にしてきたのが P T A だと思います。子どもたちは学校という集団生活の中で他人との交流および協調することを学びます。個人の主張を認めることはもちろん大切なことですが、それに加えて、周りとの協調性をもって事を成し遂げていくことも必要だと思います。ただ、いつまでも古い慣習に囚われていては、P T A という活動に未来はありません。P T A もイノベーションを進めていき、新しい活動方針を打ち出すことも、これからの時代に求められてきています。願わくは、私たちの子どもだけでなく、その子どもたちへ楽しさと共にその活動の大切さが受け継がれていく、そんな P T A となることを祈っています。

最後に、今まで各学校園 P T A の皆様をはじめ、たくさんの方に支えられて堺市 P T A 協議会会長を務めさせていただいたこと、重ねて感謝申し上げます。たくさんのお会いとともに、たくさんのお思い出をありがとうございました。何よりも P T A 活動は、子どもたちのためにあるべきものです。この思いを7月から就任される吉原会長に託し、退任の挨拶とさせていただきます。長い間、本当にありがとうございました。

堺市 P T A 協議会 令和2年度会長 植木 聡

